

# ●ブックトークシナリオ

【テーマ】 働く自分をイメージしよう

【対象】 高校生

【所要時間】 20分

## 【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	さむがりやのサンタ	レイモンド・ブリッグス/さく・え すがはら ひろくに /やく	福音館書店	1974
2	もっとやりたい仕事がある！	池上彰/著・監修	小学館	2017
3	小説・マンガで見つける！すてきな仕事 全5巻	学研教育出版/編	学研教育出版	2011
4	君たちはどう働くか	今野晴貴/著	皓星社	2016
5	タスキメシ	額賀濤/著	小学館	2015

## 【シナリオ】

### ●導入

目を閉じてみてください。近い未来、あなた自身が働いている姿を想像してみましょう。どんなふうに働いていますか？楽しそうですか？大変そうですか？それとも全く思い浮かびませんか？

### 1 『さむがりやのサンタ』

では、私が将来のみなさんの姿をお見せしましょう。目を開けてみてください。

#### 表紙を見せる

皆さん、きょとんとしていますね。まずは、この絵本を読んだことのある人、手を挙げてください。…知らない人もいるようですので、中を少し見てみましょう。

#### ページをめくりながら説明する

タイトルどおり、さむがりやのサンタのクリスマスの1日を描いた絵本です。はりきって活躍しなければならぬクリスマスだというのに、「なんだいこのてんきは！」などと愚痴ばかりです。けれども、プレゼントを配り終えて家に帰ってからの、この満足そうな表情をみてください。

きっと、未来の皆さんがどんな職業に就いたとしても、このサンタのように、仕事中は愚痴を言ったり、自分を励ましたりしながら頑張っていて、仕事が終わって、家でほっとくつろぐ…という1日があるはずですよ。

### 2 『もっとやりたい仕事がある！』

今、どんな職業に就いたとしても…と言いましたが、その「何になるか」が高校生の皆さんにとっては一番の悩みの種となっているのではないのでしょうか。将来目指す職業が、明確に決まっている人、ぼんやりしている人、全く思い描けない人…様々だと思いますが、どんな人にもおすすめなのがこの本です。

#### 表紙を見せ、ページをめくりながら

ここには、ご覧の通り、たくさんの職業が紹介されています。面白いのは冒頭のフローチャートで適性、適職をガイドしているページです。

#### p.4～p.5を見せる

質問にYES、NOで答えていくと、たどり着いたところに自分のタイプが書いてあり、あなたに合う職業が紹介されています。将来目指す職業が決まっていない人は、試してみたいかがでしょ

うか？気軽に、自分の将来の職業について考えるきっかけになると思います。

また、この本は池上彰さんによる、職業や仕事に関するコラムやトピックスが充実していて、仕事選びの参考になります。例えば、「はじめに」には、こんなことが書いてあります。

**「はじめに」の一部を読む** 【この本の中から、興味深い職業を見つけることができれば、自分が将来、その仕事をしている姿を想像してみてください。どうしてもイメージが湧かないようであれば、残念ながら、その職業はあなたに合っていないのかもしれませんが。その一方で、具体的なイメージが想像できて、とても楽しそうだと思えたら、それがあなたにぴったりの仕事である可能性が高いでしょう。】

さあ、皆さん、想像できますか？…具体的に、と言われるとなかなか難しいですね。

池上さんは別のページで、人生を決めた1冊の本との出会いについて書いています。その本は、『続地方記者』というドキュメンタリーで、この本に出合って、地方記者を目指そうと思ったそうです。本を読むことで具体的なイメージが想像できたということでしょう。そしてこう続けています。

**p.506 5～10行を読む** 【(前略) 何気なく手に取った1冊の本が、将来の人生・就職先を決めることもあるのだということです。仕事について書かれた本を読むと、さまざまな仕事の実情を知ることになります。自分がやってみたいと思うような仕事について書かれた本に出会うこともあるはずです。】

池上さんが出合ったのはドキュメンタリーですが、仕事について書かれた本は他にもたくさんあります。どんな本を読んだらいいかわからない、という人は次の本がおすすめです。

### 3 『小説・マンガで見つける！すてきな仕事 全5巻』

#### **1巻の表紙を見せ、ページを繰りながら**

全5巻あるこのシリーズは、職業にかかわる小説やマンガを取り上げて、作品の魅力と職業について解説しています。ここで紹介されている作品は、綿密な取材の上で描かれているので、仕事の内容が詳細にわかります。そして、主人公たちが仕事に奮闘する様子から、仕事上の悩み、やりがいや魅力などが生き生きと伝わってきます。

どんな本が紹介されているか、具体的に見てみましょう。

#### **1巻 p.14～p.19を見せる※ここで取り上げる本は他のものでもよい**

例えば有川浩の『県庁おもてなし課』では地方公務員が、

#### **4巻 p.32～p.37 p.80～p.85を見せる※ここで取り上げる本は他のものでもよい**

池井戸潤の『下町ロケット』では技術者が、辻村深月の『ハケンアニメ！』ではアニメ監督が、紹介されています。

#### **紹介されている実際の本（『県庁おもてなし課』『下町ロケット』『ハケンアニメ！』）の表紙をみせる**

これが紹介されている本です。もしかしたら、映画やドラマになったものを見た人もいるかもしれませんが、本を読むことで、仕事についてより専門的な情報を得たり、知らなかったことに気がついたりすることが多いと思います。

#### **『小説・マンガで見つける！すてきな仕事』1巻の表紙をみせる**

このシリーズでは、全部で75作品が紹介されていますが、仕事にかかわる小説やマンガは、他にもたくさんあります。少しでも気になったら、その本を手にとってみてください。それまで興味なかった職業でも、読後はその仕事の魅力を発見することになるでしょう。それにより仕事選びの選択肢が広がり、自分の働く姿のイメージも膨らむはずですよ。

### 4 『君たちはどう働くか』

ところで、小説やマンガは読んでしまえば、ひとまず物語として終わってしまいますが、皆さんは定年を迎えるまでの長い期間、あるいはそれ以後も働き続けることでしょうか。…と言うと、とたんに表情が曇った人がいますね。それは「働くこと」を「辛いこと」としてイメージしてしまっているからではないでしょうか？

ここで、さきほどの、1冊目のサンタの絵本を思い出して下さい。

#### **『さむがりやのサンタ』の表紙を見せる※『サンタのなつやすみ』があればそれも見せる**

実はこの絵本には『サンタのなつやすみ』という続編があります。そこでのサンタは長い夏休み

を満喫しています。働くときには働き、休むときには休み、人生を楽しむ。まさに理想的ですね？

日本は今、「働き方改革」として、多様で柔軟な働き方ができる社会を追及し、ワークライフバランスの実現、生産性の向上を図ろうとしています。しかし、「長時間労働」「過労死」「パワハラ」といった労働問題は、なかなか解決できないのが現状です。それでもこのサンタのような理想的な働き方を実現するために、皆さんはどうしたらよいのでしょうか。

#### 『君たちはどう働くか』の表紙を見せる

この本は、ベストセラーにもなった『ブラック企業』という本の著者でもある今野晴貴さんが、働くことの意味や、就活の方法、就職してから注意すべき点などについて、若い人のために書いた本です。少し読んでみましょう。

**p.115 後ろから4行目～p.116 7行目** 【会社で働く人でも、バイトとして働く人でも、いやな目にあつたときは労働法がみなさんを守ってくれます。～(中略)～つまり、みなさんが労働法という法律について、ある程度「知っている」ということが、とても大切なのです。条文をすべて暗記せよ、などとはいいません。「知っている」というのは、労働法がなんのための法律なのかを知っていて、自分がどんな目にあつたら使うことができるのかを知っている、という意味です。】

このように、今野さんは、特に労働法の大切さについて強く訴えています。そして、アルバイトや就職先で、トラブルに巻き込まれたとき、労働法を使ってどう対処すればいいかということが、具体的な事例も交えながら、とてもわかりやすい文章で解説されています。

#### 表紙と裏表紙(カバー)を広げて見せる

カバーの絵を見て下さい。学生を作者の今野さんが見守っていますね。このように、いつも誰かが自分を見守っていてくれること、支援してくれている人がいることを忘れないでください。一人で悩みを抱え込まず、誰かに相談してください。

#### p.174～p.175を見せる

この本には仕事で困ったときの相談先も掲載されています。働くことに少しでも不安がある人は、ぜひ一読してください。アルバイト先や仕事先で何かトラブルがあつたとき、どうすればいいかということがイメージできます。また、自分にとっての理想的な働き方についても、考えるきっかけになるはずです。

## 5 『タスキメン』

これまで、働く自分の姿をイメージするための本を紹介してきましたが、最後の1冊は、高校生が主人公の小説を紹介します。

#### 表紙を見せる

この本の主人公、高校3年生の眞家早馬まいえそうまは、才能ある長距離選手でしたが、右膝を故障し、陸上部と距離を置くようになります。そんな中、同じ長距離選手の弟・春馬の偏食が激しいことを気にかけていた早馬は、次第に料理に目覚めていきます。そして、陸上をやめて、管理栄養士を目指すと決断するのですが、弟の春馬や陸上仲間は納得できません。

早馬と担任の「稔」先生の、進路面談の場面を一部読んでみます。

**p.132 14行目～p.133 8行目を読む** 【「部活はいいのかい？」「引退したようなもんですから。」～(中略)～管理栄養士を目指すのは、もう少し慎重に考えろ。稔はそう言いたかったのだろうか。なぜか、違うように聞こえた。お前が裏切っているのは、もっと別のところだと、胸の内で声がする。胸だけじゃない。足から、する。右膝から響いてくる。】

割り切ったような口調で進路について話す早馬ですが、心の奥には陸上への思いがくすぶっていることが伺えます。その思いを先生は見抜いていますが、はっきりと助言はしません。

早馬はケガがきっかけでしたが、誰でも、進路のことを本格的に考える頃になると、自分自身について、改めて見つめ直す時期が来ます。まさに今がそうだ、という人もいるでしょう。早馬の葛藤と、早馬をめぐる人々の思いに強く共感できる、高校生の「今」だからこそ読みたい青春小説です。また、駅伝のシーンは臨場感があって、スポーツ小説としても楽しめる1冊です。

さて、早馬は本当に陸上をやめてしまうのでしょうか？気になる人は読んでみてください。

最後に、もう1度この絵本を思い出してください。

#### 『さむがりやのサンタ』『タスキメン』の表紙を見せる

そもそもこのサンタは寒がりなのに、どうしてサンタになったのでしょうか？あ、もしかしたら

自ら望んでサンタになったのではないかもしれないですね。でも、なんとか続けていられるのはどうしてだと思いますか？…そう、寒がりなのに、サンタを続けていられるのは、プレゼントを配って子どもたちに喜んでもらいたいから、ではないでしょうか。

そして、この『タスキメシ』の主人公早馬も、料理に興味を持ち、管理栄養士になりたいと考えたのは、弟の偏食を治したいと思ったのがきっかけでした。

「誰かのためになりたい」「誰かに喜んでもらいたい」…という気持ちと、その「誰か」を具体的にイメージできることが、自分に合う仕事を探すことだけでなく、仕事を続けて行く上でも大切なことかもしれませんね。

## ●まとめ

### **紹介した本の表紙を順に見せる**

今日は、「働く自分をイメージしよう」というテーマで本を紹介しました。気になったら手に取ってみてください。

**【その他の本】** こちらの本もおすすめです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してみましょう。

- ・『中学生・高校生の仕事ガイド 2018-2019年版』進路情報研究会／編 桐書房 2017年
- ・『夢のお仕事さがし大図鑑 名作マンガで「すぎ!」を見つける』全5巻 夢のお仕事さがし大図鑑編集委員会／編 日本図書センター 2016年
- ・『これを知らずに働けますか?』竹信三恵子／著 筑摩書房 2017年

山梨県立図書館 2019.2